



「乾燥地を巡る食」

日時：2024年11月21日(木) 13:00～17:00 (受付12:30～)

開催方法：対面のみ (Zoom視聴はございません)

於：東京大学大学院農学生命科学研究科

フードサイエンス棟 (旧4号館) 中島董一郎記念ホール

参加費：無料 (ただし資料代1,000円)

申込：メール (氏名と所属) cadal_jaals@kyouritsu-online.co.jp

プログラム

- 12:30 - 受付
- 13:00 - 13:05 開会の辞 田中 徹 氏 (日本沙漠学会副会長)
- 13:05 - 13:45 乾燥地域における乳の生産と利用の構造 前田 浩史 氏 (ミルク一万年の会 代表世話人)
- 13:45 - 14:25 乾燥地の豆食文化 - その多様性と魅力 - 高増 雅子 氏 (日本女子大学 名誉教授)
- 14:35 - 15:15 乾燥地における養殖昆虫食の可能性 佐伯 真二郎 氏 (TAKEO株式会社 CSO)
- 15:15 - 15:55 乾燥ストレスと辛味 松島 憲一 氏 (信州大学学術研究院農学系 教授)
- 16:00 - 17:00 全体討論
モデレーター 石川 祐一 (日本沙漠学会乾燥地農学分科会会長)
パネラー 前田 浩史 氏、高増 雅子 氏、佐伯 真二郎 氏、松島 憲一 氏
- 17:00 - 17:05 閉会の辞 平賀 義彦 (日本沙漠学会乾燥地農学分科会副会長)
- 17:30 - 懇親会

講演の趣旨

日本沙漠学会乾燥地農学分科会では、毎年乾燥地農学に関する講演会を開催しています。今回の講演会では乾燥地になじみの深い食材である乳製品、豆類、香辛料、昆虫食を取り上げ、食材の特徴、食材の利用法、現地の食文化の中での位置づけなどを各ご専門の先生方からご紹介いただいて沙漠や乾燥地の新たな一面を知る機会にします。

企画者が議論したい内容

過酷な環境での食文化って面白い！
みんなに知ってほしいな～

乾燥地の食文化を世界に
展開できるのか？

日本の自給率低下に活かすことは
できないだろうか？

ハラルって何？どんな生活なの？

食と乾燥地を取り巻く背景と
どう関係しているのかなあ？

